

# WCA大会 企画運営に興味がある人に 知っておいてほしいこと

## 大会運営経験から得られるもの

これを読んでいるみなさんは、少なからず大会運営に興味があるのでしょうか。SCJは、コミュニティを一緒に作っていこうとする皆さんを歓迎します。

スピードキュービングの楽しみは、日々練習して自身のタイムを向上させることだけではありません。仲間との交流や、練習の成果を発揮する機会となる大会の企画運営もまた楽しいものです。

実際の作業は地道な事務手続きの連続ですが、ひとたび大会運営が終われば心地よい達成感が残ります。大会運営を通して仲間との絆も深まりますし、ますますスピードキュービングを楽しめるようになるでしょう。

また、開催日程や種目をある程度コントロールできたり、定員が少ない場合でも優先して自身の申込が承認されるなど、実行委員ならではの役得もあります。大会の参加費から一定の人件費を受け取っても構いません。

## 実行委員に求められること

まず、実行委員とは企画段階から手を動かし中心的な役割を担う人を指します。大会当日のみのボランティアとは区別して扱います。

大会運営はそれぞれの大会実行委員が主体となり、SCJはそれを補助する立場です。もちろんわからないことは何でもサポートしますが、自ら積極的に活動することが求められます。

起案から大会当日、そして事後整理まで含めるとだいたい3-4ヶ月の期間が必要です。この間、毎日1時間程度の作業時間を割くことになります。

特に、WCA企画申請前と大会直前の2期間はやることがたくさんあるので、週末の予定を予め空けておいてください。

## 特に気にしなくていいこと

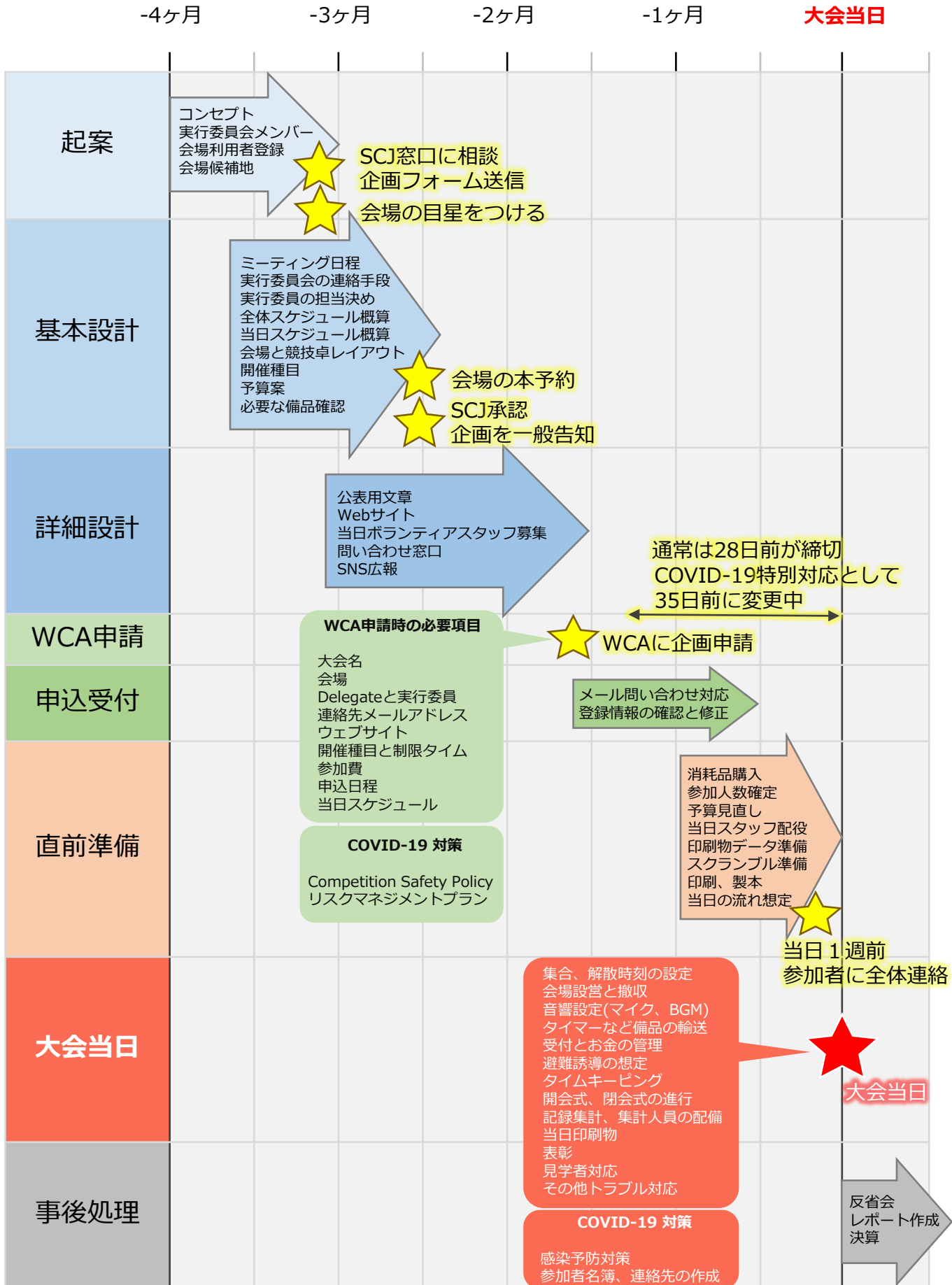
スピードキュービングの実力はあまり関係ありません。大事なのは、自分でやってみようという好奇心、チャレンジ精神です。

実行委員長は18歳以上かつ大会参加経験が必要ですが、その他の役割には特に制限を設けません。

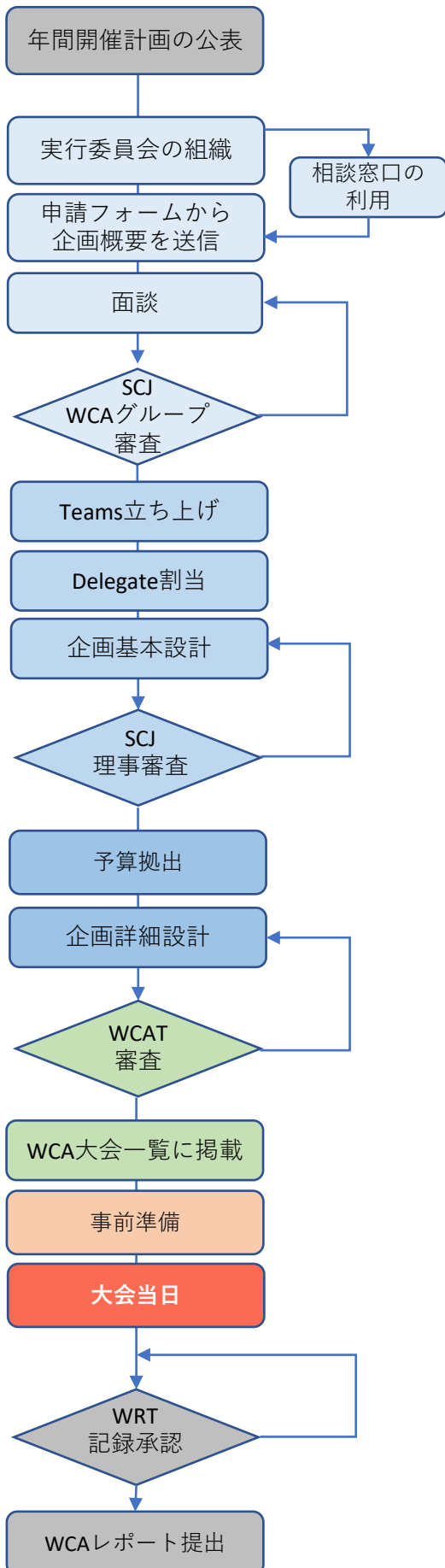
## まずは相談窓口をご利用ください

少しでも大会運営に興味があれば、まずご相談ください。まずは起案フォームの内容について、一緒に見ていきましょう。

# WCA大会企画運営 全体スケジュール例



# WCA大会企画運営 承認フロー



相談しながら起案

企画の概要を確認

企画の細部を確認

WCATに大会申請

WCAT = WCA 大会告知チーム

WRTに記録を提出し  
記録集計の整合性を確認

WRT = WCA 競技結果チーム

WCAスタッフにレポート共有